

## 保険の事始めパート2

■生命保険が「いくら必要か？」⇒「家族に必要となるお金」から「これから入ってくるすべてのお金」を差し引いて計算します。家族の生活費や学校の費用などが必要額。入ってくるものは「遺族年金や死亡退職金」と「預貯金」などです。

■保障は「いつまで必要か？」⇒将来の収入や支出によって、一定期間でオーケーか一生涯ほしいのかを決めます。一定期間なら具体的に「いつまで」にするのかを決めます。

■病気とケガに備えて「医療保険」を選ぶとよいでしょう。この場合「一定期間」か「一生涯」のいずれかの「期間」を決めてください。

生身の人間にとっていつ発病するのかは決まっておりません。従って一生涯ずっと保障される「一生涯」がベストです。

■老後の不安を払拭するために「年金」に加入する事をお勧めします。この際「公的年金」と「退職金」を控除して「必要額」を計算してください。この必要額を基準に「一定期間」か「一生涯」のタイプの年金保険を決めて下さい。

■介護費用に備えて「介護保険」を選んでください。公的な介護費用保険をもとに、自分が負担しなければならない「出費」を考えましょう。期間も「一定期間」か「一生涯」を選んでください。

■必要保障額は、ライフスタイルなどで変わってきます。

「結婚して子供ができました」⇒支えるべきファミリーの安定保障。「アウトドアやスキューバダイビング。登山など趣味が多い」⇒病気・ケガの保障。「高齢化でも色々なことにチャレンジ」⇒ゆとりある老後の保障。「高齢化による自分の介護不安」⇒介護保険。

■生命保険は複雑に見えますが？「主契約」と「特約付加」による方法で実際はシンプルです。一度じっくり、ファイナンシャルプランナーを交えてご自分で「よく考えて」みましょう！

エコー保険(株)

コラムニスト 松浦 則雄